

PPR (Positive Peer Reporting) が友人同士の対立場面における介入行動に及ぼす影響の検討

○松山康成 (寝屋川市立西小学校)
栗原慎二 (広島大学)

真田穰人 (広島大学大学院)

キーワード: PPR (Positive Peer Reporting), 修復的対話 (Restorative Approaches), 介入行動

問題と目的

学校での子ども同士の対立問題を、修復的対話 (Restorative Approaches) による解決を実現しようとする教育的支援が展開されつつある (松山, 2017)。このような教育的支援が広がる中で松山・真田・栗原 (2019) は、実際の友人同士の対立場面における介入行動を測定する介入行動尺度を開発している。また松山・栗原 (2019) は修復的対話を実現する教育的支援として、Peer Mediation Training (Sellman, Cremin & McCluskey, 2013; 池島・竹内, 2011 以下, PMT) に取り組み、介入行動における非介入思考と介入思考に効果が見られたことを明らかにしている。

そこで本研究では、介入行動における援助思考の向上および傍観思考の減少を目的として、ポジティブなフィードバックを子ども同士の社会的な相互作用を活かして行う方法である Positive Peer Reporting (松山・池島・枝廣, 2016 以下, PPR) を実施し、それが介入行動に及ぼす影響を検討する。

方 法

対象と時期 大阪府下の公立小学校の 5 年生 72 名 (男子 34 名, 女子 38 名) の児童を実施群, 実施群と同じ市町村内の公立小学校の 5 年生 30 名 (男子 16 名, 女子 14 名) の児童を対照群として調査を行った。実践及び調査の実施に当たっては学校長に対して研究の概要と質問内容の説明を行い、調査と研究に対する同意を得た。

手続き PPR の実施は、201X 年 9 月から 12 月

に学級担任が実施した。まず、児童は朝の登校時に、教室に設置された、学級児童の出席番号が書かれたくじを引き、その番号の児童を 1 日観察する。この際、観察対象の同輩には自分が観察していることは伝えない。そして終礼時に

PPR の用紙にその観察対象の児童の良かった行動、望ましかった姿を記入し、手渡すこととした。

効果測定 松山・真田・栗原 (2019) の介入行動尺度を 8 月下旬と 12 月中旬に実施した。

本研究のスケジュールを Table 1 に示す。

結 果

Table 2 に PPR の結果を示した。その結果、介入行動における援助思考において有意傾向な交互作用が認められた ($F(1,180)=3.88, p<.10$)。また、傍観思考において有意な交互作用が認められた ($F(1,180)=4.32, p<.05$)。

考 察

本研究の結果、PPR の実践によって介入行動における援助思考および傍観思考に効果が示されることが明らかとなった。松山・栗原 (2019) は PMT の導入によって非介入思考と介入思考に効果が示されたことを報告しており、PMT と PPR を合わせて実施することで、介入行動が実現することが示唆された。

今後は、友人同士の社会的相互作用を促進する PPR と、修復的対話スキルの習得の目指す PMT を、どのような手順で学校現場へ導入していくべきかの検証が必要である。また、修復的対話を実現しうるその他の教育的支援が、介入行動にどのような影響を及ぼすかの検討も必要であろう。さらに個人差についても分析し、どのような配慮が必要かを明らかにしていきたい。

Table2 PPR実施と時期における2要因分散分析結果

	実施群 N=72		対照群 N=30		群	時期	交互作用
	pre	post	pre	post			
援助思考	3.00 (0.65)	3.49 (0.41)	2.87 (0.59)	3.01 (0.65)	12.31**/.06	11.06**/.05	3.88†/.02
傍観思考	1.99 (0.45)	1.54 (0.44)	2.78 (0.73)	2.65 (0.44)	13.31**/.04	142.02**/.42	4.32*/.01
非介入思考	1.56 (0.55)	1.50 (0.68)	2.07 (0.51)	1.99 (0.60)	0.53n.s./1.00	30.51**/.14	0.01n.s./1.00
介入思考	2.97 (0.55)	3.00 (0.69)	2.46 (0.70)	2.58 (0.61)	0.54n.s./1.02	21.54**/.11	0.22n.s./1.00

注) ** $p<.01$, * $p<.05$, † $p<.10$ () 内は標準偏差を示す。